



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2023-2024 R. I テーマ  
世界に希望を生み出そう

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	清水佳代子	幹事	和田貴弘	会報委員長 上野宗久

### 第1886回例会 2024年6月4日(火)

2024年6月18日発行 第1689号

#### 会長の時間 清水佳代子会長

本日は、李濬姫会員による卓話となっております。大変楽しみにしております。宜しくお願い致します。さて、本日の会長の時間ですが、6月2日(日)に飯能日高消防署で行われた『日高市消防団消防操法選考会』を見学させて頂き感じたことを少しだけお話させていただきます。『操法』は、操作の操と方法の法で操法というそうです。なぜ見学したかと言いますと…私の息子が消防団でお世話になっているからです。会員皆様の中にも、御自身がかつて消防団に入団していた、またはお子さんが入団している(入団していた)という方もいらっしゃると思います。特に和田貴弘幹事に於かれましては、消防団長まで務めていらっしゃいました。私自身は初めて操法というものを見学させて頂きましたので、採点の方法、減点対象等々はわかりませんでした。ただ団員の皆様は、普段は御自身の仕事をしながら貴重な空き時間を利用して日々訓練しておられます。その様な環境のなかでも、きびきびと、そして澁刺と活動されていて本当に素晴らしいと思いました。宴席も多くあるようですが、それらも団員皆様の結びつきを強くし、絆を深めるためには大事な席であると感じます。それらを感じたのが、卒団されたOBの方々がたくさん応援に来てくださっていることでした。仕事とはまた違う、真剣な訓練から結ばれた絆はいつまでも続くものなのですね。有事の際に、団結して消火に当たってくださる消防団の皆様へ、心から頭が下がる思いで帰宅いたしました。和田貴弘幹事には、機会がございましたら是非日高市消防団についての卓話をして頂きたいと思っております。



#### 幹事報告 和田貴弘幹事

地区事務所より

- ・6月ロータリーレートのお知らせ
- \$ 1 = ¥157



#### 結婚誕生祝 白井 威会員



[誕生日]

武藤和雄さん  
小坂雅彦夫人 栄里様



## ～『変貌し続ける東京』

## 最近の都会の不動産事情～

## ・築地市場跡地の利用(豊洲の変化)

東京・中央の築地市場跡地を再開発する『築地地区まちづくり事業』についてお話しさせていただきます。今年に入って東京都は、再開発の事業予定者を決定しました。三井不動産を代表企業とするグループで、構成企業にはトヨタ不動産、読売新聞グループ本社の他、鹿島や清水建設、大成建設、竹中工務店、日建設計、パシフィックコンサルタンツ、朝日新聞社、トヨタ自動車とビッグネームが並んでいます。約19万m<sup>2</sup>の広い敷地に建設する施設の提案内容は、まさにてんこ盛りです。約5万人を収容する屋内全天候型の多機能施設(マルチスタジアム)をはじめ、1200人規模の文化・芸術拠点であるシアターホール、舟運や空飛ぶクルマ、自動運転車、地下鉄の新駅開業まで見据えた陸・海・空の交通結節点機能、そして築地ブランドを生かしたフードホールなどが出来る予定です。隅田川から東京湾につながる築地のエリア特性を生かした構想ですね(舟運や、空飛ぶクルマと自動運転車の実用化を見据え、陸・海・空の交通結節点を構築)。目玉となるでしょうコア機能のマルチスタジアムは、可動席と仮設席を組み合わせて、フィールドと客席の形を自在に変えられるようにするとの事。多様なスポーツやイベントに対応出来るようにして、客席数は2万席から5万7000席まで変更可能にするそうです。イベント開催時以外は、アリーナ面から上層階までをスロープでつなぐ『スパイラルコンコース』を開放、日常利用についても検討する予定だそうです。築地市場跡地の再開発が始動し、影響を受けるのは、移転した豊洲市場に隣接する場所で2月に開業した施設『豊洲 千客万来』かもしれません。千客万来は、江戸の街並みを再現した商業施設で、豊洲市場隣接である強みを活かした新鮮食材の販売・提供を行っています。寿司やうなぎなど江戸前の食が楽しめる飲食店街や、地元で人気の店舗が並ぶエリアもあります。8階には、豊洲の景観を望める千客万来足湯庭園(専用トレーラーにて、箱根・湯河原の温泉を運搬している)を一般無料開放用として設置していて、ちょっとした日帰り旅行には最適だと思います。千客万来は、東京都の計画変更により振り回され開業が大幅に遅れた経緯がありますが、築地との共存や食連携による相乗効果が期待されるのではないのでしょうか。



## ・中野エリアの再開発

中野区は都心の西側、武蔵野台地の中心付近に位置し、新宿区、渋谷区、豊島区などと接しています。中野区の中心地となる中野駅には、JR中央線と東京メトロ東西線が乗り入れています。新宿駅へはJR中央線快速で1駅、最速4分と近く、都心部へのアクセスの良さから、古くから住宅地として発展してきた経緯があります。百貨店『丸井』創業の地でもあります。そして、いよいよ中野エリアの市街地再開発が目玉となる『中野サンプラザ』の建て替えを含む、拠点施設の整備事業が始動し始めました。今年2月には中野駅南口の『住友不動産中野駅前ビル』『中野ステーションレジデンス』が竣工し、3月から入居を開始したと発表しました。中野駅前の立地で、JR中央線・総武線や東京メトロ東西線が利用できる中野駅とはペDESTリアンデッキで直結し、交通利便性の良さから住友不動産中野駅前ビルは満床での稼働だそうです。中野といえば漫画やアニメなどサブカルチャーの発信地として知られる中野ブロードウェイ(正式名称はコープブロードウェイセンター)や、コンサートホールとしての中野サンプラザが有名でした。元々都心に近く、3路線が利用できる中野は交通の利便性は高く、商店街も充実している街ですから、買い物客が多くやってくる街というイメージです。この再開発により、今後街のイメージもガラッと変わるのではないのでしょうか。

## ・原宿の変貌

新商業施設・東急プラザ原宿『ハラカド』が、表参道と明治通りが交差する神宮前交差点に2024年4月ドオープンしました。同時に、対面に位置する東急プラザ表参道原宿は、東急プラザ表参道原宿『オモカド』に改称されました。ハラカドは、かつての『原宿セントラルアパート』の文化を継承し、さらに発展させていく新しい商業施設となっています。地下1階から7階の屋上テラスまでに全75店舗が集結、アパレルや雑貨、スイーツまで勢ぞろいしています。若い世代に、古い物と新しい物を伝え『新しい文化』を創造・発信していく場にしたいようです。

新たな街へと変貌を遂げる東京…未来の暮らしが、知らぬ間に私たちのすぐ近くまで来ています。

出席報告	6月4日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	5/21修正率
	夜間	20	10	2	10	50%	55.5%

ニコニコボックス報告 10名 合計金額 12,000円 累計金額 412,500円